

新聞の中にある語句を使ってみよう

柳田克彦 宮崎県北川町立祝子川小学校教諭

① 課題のねらい

- 語句には様々な意味や使い方があることを理解させ、語句の量を増やす。
- 新聞は言葉の宝庫であることを知り、新聞に記載されている文章から自分が興味を持った漢字や使いたい語句を調べ、活用しようとする態度を養う。

② 学習内容

時

主な発問・指示

1

新聞を読んでいますか？

- NIEで取っている新聞を読む
- 時々読むけど、わからない字がある

新聞の記事がスラスラ読めたら楽しいだろうね。習っていない漢字もあるから難しいかな。習った漢字が出てきて、「あっ、知ってる」ということもあるでしょう。

今日は、「この字、何て読むのかなあ」「この言葉を使ってみたいなあ」と思うような文字を新聞から選んでみたいと思います。切り抜いたら、整理カードに張ってください。

自分のカードづくりに取り組んでみましょう。

- 作業に入る

2

- 新聞から切り抜く時間を十分にとる
- 言葉さがし
- 切り取り
- カードに整理

一度にすると大変だから、読み終わった新聞などを使い、毎日少しづつ言葉を増やしていくといいね。

指導のポイント

- 新聞には目を通しているが、面白い写真やスポーツ欄・テレビ欄が中心であると考えられる。ここでは、「わからない字がある」という意見を出させ、逆にそれを学習に役立たせることを伝え意欲づけとしたい。
- ここで、最近の新聞から「児童が習った漢字を使っている言葉」と「習った漢字が使われているが読みが難しい言葉」を切り抜き、拡大（またはOHPなどを使用）して提示する（例；「軽い」と「軽重」など）。
- 一字ではだめである。漢字の場合は熟語で選ばせる。縦書きの言葉でも横書きの言葉でもよい。また、小さい字は切り抜きが大変なので、見出しなど大きな文字から切り取らせるようにする。
- 切り抜いた語句は、五十音順のカードに整理する。「あ」のカードには、「明日」「案件」「あまねく」「あこがれ」など、「あ」で始まる言葉が記入される。読みの分からぬ言葉は、教師が教えてもよい（辞書を引かせてもよい）。
- 新聞は、他の教材となる記事がないかチェックしたものを使う。古い新聞でも使用できる。
- 切り抜いた言葉をすぐに張らず、袋に入れておいて後半でまとめて張っていく方法もある。

- 極端に難しい言葉を選んでいる児童には、指導を要する（未学習漢字で発達段階にそぐわない言葉は、別のカードに張り、教師が読みがなをふって後日掲示してもよい）。
- カードに張る時に、その言葉を使った短作文を併記させるとよい。また、読みがなをふった語句を辞書で調べ、意味を書き込ませると活用に弾みがつく。
- 「五十音」でまとめていくと、50枚近くのカードができる。ファイルにとじて自分の宝物にしたり、こつこつためるなど継続的な取り組みによって、効果が高まる。

(3) 評価

- 自分が興味を持った漢字や使いたい言葉を新聞から選び、進んで表現に生かそうとしたか（関心・意欲態度）。
- 新聞に使われている様々な言葉が日常生活とかかわりが深いことに気付いたか（思考・判断）。
- 新聞から自分の興味を持った漢字や語句を集め、プリントに整理することができたか（資料活用）。
- 語句の量を増やす方法として新聞が活用できることを理解したか（知識・理解）。

●資料資料
1
児童作品**あいうえお漢字／ト**

し ⇒で始まる漢字
15 こ 集めたよ!

人権 じんけん
少年 しょうねん
新発売 しんはつばい
人類 じんるい
次代 でいたしがろ
四季 しき
死亡 しほう

自然 しぜん
仕事 じごと
働き がさき
の の
力 ジョウホウ
情報 じょうほう

進行中 ていんしゅう

女性 じょせい

か ⇒で始まる言葉
13 こ 集めたよ!
考える くわんざる
声 こゑ
心地いい こころちい

元氣 げんき
軽量 けいりょう
競争 きょうきょう
教科書 きょうかほ

空間 くうかん
交通 こうつう
効果 こうか
暗い くろい

が ⇒で始まる漢字
25 こ 集めたよ!
会長 かいじょう
家族 かぞく
開発 かいはつ
外交 がいこう
関係 かんけい
介護 かいご

が **が** **か**
課題 かたくい
固め くため
活用 かいつゆう
価格 かがく
簡単 かんたん
影 かげ
回復 かいふく
輝く かいてく